

## 道路整備・安全対策・ まちづくり諸課題について

立志会 小林昭弼 議員



**問** 中央通り線と上重原13号線交差点改良、道路整備部分は、小中学校の通学路に指定されているが、歩道幅員は狭く危険。拡幅されるのか。工事内容は。

**答** 交差点を中心として240mの区間の歩道幅員を2.5mに拡幅する。車道には右折帯を設け、定期信号機設置は、事業を進め



中央通り線(上重原町)

るにあたり地元の高い要望があり最終目的である。市長を含め、安城署に要望書を提出しているが、信号がつくかどうかは警察の範疇になり現段階では回答をもらっていない。設置に向け努力していきたい。道路工事は令和元年度末までに完了予定。

**問** 安全対策、公道上における防犯カメラの設置は。

**答** 犯罪防止効果はあると思うが、不特定多数の人が往来、街頭監視カメラはプライバシーの問題もある。地域の課題解決のツールとして町内で設置箇所を検討し、設置するのが望ましい。

**問** ゾーン30の設定は。

**答** 基本的に道路幅員の狭い学校周辺に設定。地元要望があれば警察に協議確認をしてみる。

**問** まちづくり(仮称)蔵福寺土地区画整理事業の状況は。

**答** 知立駅より1km圏内で前向きな地権者も多い。文化や子育てをまちづくりのコンセプトとし、住みよい居住空間をつくる。

## 子どもの 学び環境・学校教育

立志会 神谷定雄 議員



**問** 学校、教育委員会、家庭、地域、その他の関係機関と連携して、「いじめをしない、させない、見逃さない」ための組織的な取り組みは。

**答** いじめは、どの学校でも起こりうることに捉え、校長会や生徒指導担当者等で子どもの少しの変化に気づき、教師1人で問題をかかえ込まず、組織的に対応している。

**問** ほとんどの家庭のトイレが洋式である環境の中、学校のトイレを使用している児童生徒の不自由、不快感を軽減するために、また災害時の指定避難場所であり、環境を整える観点からも、早急に小中学校のトイレを洋式に改修すべきでは。

**答** 今年度は2校(知立小学校・来迎寺小学校)の、工事を実施しており、来年度は学校施設環境改善交付金の採択があれば、3校(猿渡小学校・知立東小学校・八ツ田小学校)のトイレ改修工事を行う予定。

**問** 小中学校の体育館内の施設改善について、不具合箇所の改修はどのように対応しているか。

**答** 毎年、学校修繕のための予算を財務と協議のうえ予算化しており、各学校にて修繕箇所の優先順位を決めて、予算の範囲内で対応している。



知立南小学校(新林町)

## 超高齢化社会への対応は 市制50周年と文化の継承

正和会 川合正彦議員



**問** 高齢化は今後一層加速し2025年、高齢化率30%と推計。認知症患者も大幅増が見込まれる。介護予防・重度化防止、認知症予防は喫緊の課題。一生を通じ生きがいの持てる生涯現役社会の実現のため「高齢者の働く場」づくりを。求職者と企業とのマッチングを介護と労働行政の両面で図り、就労による社会参加で長寿健康社会の実現を。

**答** 高齢者の就職相談会は好評。今後は、部局相互の協力体制を強化し高齢者の就労支援と生きがいづくり、健康増進に努める。

**問** 地域包括ケアシステム構築と拡充のため、医療、介護、地域の更なる連携強化、地域包括支援センター増設が必要では。

**答** 在宅医療・介護連携推進協議会を開催。ウェブの「えんじょネットワーク知立」で医療介護に関する情報共有。また生活支援コーディネーター配置、協議会設置に必要なサービスと提供者とのマッチングを実施。新たな

支援センターは新林に開設予定。**問** 市制50周年を機に伝統文化の継承と新たな文化の育成を。名古屋の地下鉄駅ホームに知立市出身の画家の壁画がある。知立駅周辺整備事業にこそ活かし、文化振興を図るべきでは。

**答** 来年度策定予定の文化芸術推進基本計画の中で検討する。



## 市街地開発の公民連携と 日本語教育の現状

立志会 中野智基議員



**問** 西新地区での再開発事業計画内容の一つに、子育て支援モールが提案されている。知立市人口ビジョンでは、20年後の年少人口は現在より2割減と推測されている中、合理的な設置計画とは言い難い。それならば、老朽化による建て替えを必要とされている保健センターなどの

公共施設を民間との連携において移設してみてはどうか。

**答** 保健センターは昭和58年に建設され、あと数年で大規模修繕が必要となるため、移設も一つの方策だと考える。再開発事業内での公益施設について更なる検討を行っていく。



**問** 東小学校を始め、八ツ田小や南中での外国籍児童生徒の増加は顕著である。その児童生徒への学習面及び児童生徒指導での対応には、通訳者の役割が期待される。特に生活面での指導においては、保護者との意思疎通が重要となるが、現在、通訳者の配置が十分になされていない状況が見受けられる。ついては、当該小中学校への通訳者を配置、若しくは、市教委への通訳者の配置を行っていくべき。

**答** 円滑な人間関係構築と教育の推進のために、通訳者の増員は必要。一方、母語が多言語化しているため、その対策も検討課題である。

## ごみ行政の一大転換に おける諸課題

市政会 三宅守人議員



**問** 直接の声は少ないが、一部の集積所で時間外、集積所外に投棄が見られる。

**答** 現在の声は少ないが、一部の集積所では時間外、集積所外に投棄が見られる。

**問** 分別マナーの良い所、悪い所の対応は。

**答** 現在も概ね良好な環境が保たれている。しかし、一部の集積所では指定時間外の持ち込みが見られる。この様な所は特に注意を払っている。

**問** 区長会のアンケート集計を通じて、どんな分析結果が出ているのか。

**答** 運営面、景観面について集積所の状況を5段階評価してもらい、併せて悩みごと、困りごと、要望、自由意見を記載してもらった。22町内会から回答、回収率は71%。意見については、当日どのようなごみを収集するかを表示を大きくしてほしい。集積所が狭い。看板がコンテナの陰に隠れている。現場でのカゴにかけるプレートには日本語表記しかない。速やかに対応できるものからしたい。



**問** 市民サービスの均等化、公正化ということで朝の収集も含め、開所時間が全市内で均一となり、また、何処の集積所にも出せるようになった。立ち番の負担が無くなったことに加え、市民の利便性が高まった。無人化によって以降、市民からの声はどの様なものが届いているか。

## 男女共同参画社会の実現に向けて

市政会 石川智子議員



**問** 市職員における男女共同参画推進の取り組みは。

**答** 時間外勤務の削減や管理職員の女性割合の向上、育児休業や男性職員の育児参加のための休暇取得などに取り組んでいる。

**問** 働く女性、共働きが増え、ワークライフバランスや多様な働き方が求められる中、サテライトオフィスなどのテレワークの拠点をつくってはどうか。

**答** 有効的な働き方のひとつの選択肢として、研究していく。

**問** 男女共同参画社会の実現に向け、子育て支援は重要課題と考える。公立保育園で使用したおむつを持ち帰るルールがあるが、保護者、保育士ともに負担軽減につながるよう、園で処分できないか。

**答** 保護者と保育士の負担軽減になるので、検討していきたい。

**問** 放課後子ども教室と放課後児童クラブを一体型で実施できないか。

**答** 放課後子ども教室と放課後児童クラブを一体型で実施できないか。

**問** 新・放課後子ども総合プランで掲げられており、両事業がより連携して実施できるよう、検討していく。

**答** 地域防災力向上のため、女性の視点からの防災ハンドブックを作成してはどうか。

**問** 地域の防災力向上のため、女性の視点からの防災ハンドブックを作成してはどうか。



※情報通信技術を活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。